

## 「冬季流動ダイナミクス知の融合博士学生セミナー」報告書

開催日時： 2013年1月24日（木）  
開催場所： 東北大学流体科学研究所 COE 棟3階 セミナー室  
参加者： 学内の博士後期課程学生および博士前期課程学生，教員  
参加人数： 35名（内 外国人7名）

2012年度の「冬季流動ダイナミクス知の融合博士学生セミナー」が2013年1月24日（木）に本学COE棟セミナー室にて開催された。今回のセミナーでは、本学・本GCOE卒業生である日立電線 堀切文正氏 および 宇宙航空研究開発機構 高橋英美氏をお招きした。両名とも平成21年3月に本学で博士の学位を取得され、卒業後間もない講演者たちが実際に社会に出て感じたこと、博士学生時代に経験して役に立ったことなど、卒業生の視点から博士学生に向けた講演をいただいた。

高橋氏からは「COEを通しての経験とその後への影響」との題目で講演をいただき、在学中に経験した外国留学および国際会議のオーガナイザー業務を通して、プロジェクトを遂行する上での必要な考え方、さらにはポジティブシンキングで物事を捉えていく大切さをお話された。特に、自身の趣味を通してのリフレッシュ法など、常に忙しい博士学生たちにとっては、大変興味のある講演内容であったと思われる。聴講学生からは、多くの質問が相次いだ。

堀切氏からは「企業が博士に求めるもの ～GCOE留学体験および博士として会社に入って感じた事～」との題目で講演をいただき、学位取得後、一般企業に進んで感じた博士に求められることなど、やはり聴講学生にとって興味のある内容をご講演された。会社が博士研究員に求めるもの、博士研究員が振る舞うべき行いなど、年齢的に近い先輩から話された内容は、学生にとって大変心に響くものとなったに違いないであろう。また、氏はご自身の経験から、博士課程在学中に経験しておくべきことおよび学んでおくべきことを懇切丁寧に説明された。

今回のセミナーでは、年齢が聴講学生に比較的近く、また、アカデミック・研究機関と一般企業という、卒業後、異なる道を選んだお二方をお招きして開催した。その意図としたところは、講演者と聴講学生の距離感を短くし、博士課程終了後の進路について具体的に考えて欲しかったところにある。GCOEプログラムは本年度で終了するが、可能であればこのようなセミナーを今後も継続していきたい。

